

# 超微粒子ポリマーセメント系注入材 リフレフィルボンド

東日本・中日本・西日本高速道路(株) 品質規格適合品

## リフレフィルボンドとは...

リフレフィルボンドは、超微粒子セメントと特殊ポリマーエマルジョンを主成分としたポリマーセメントスラリーで、微細なひび割れへの注入を可能にした安全なひび割れ注入材です。

## リフレフィルボンドの適用

幅0.2mm以上のひび割れ注入

## リフレフィルボンドの特長

- 低圧注入を行うことにより、幅0.05mm程度のひび割れまで行き渡ります。
- コンクリートの性質にきわめて近い材質であるため、耐久性に優れます。
- 湿潤箇所にも注入可能です。したがって亜硝酸リチウムの先行注入も可能です。
- 水系材料を主成分としていますので人体に安全で、施工器具の洗浄も水洗いで済みます。

## リフレフィルボンドの用途

- コンクリートのひび割れ注入
- PC桁シースへの後注入

▼ 超微粒子パウダー リフレフィルボンドP



▼ 普通ポルトランドセメント



荷姿は製造の都合等により予告無く変更する場合がありますので予めご了承下さい。

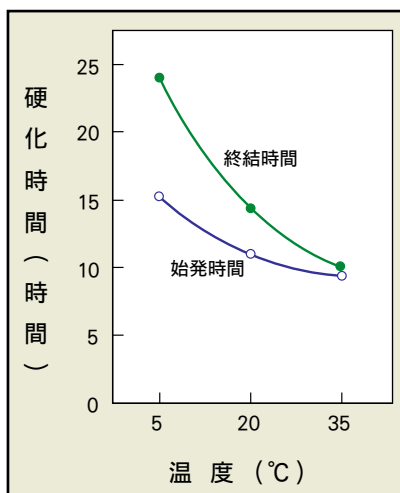
### リフレフィルボンドの荷姿

内 容		練り上がり量
リフレフィルボンド 8.7kg缶入り	超微粒子パウダー リフレフィルボンドP 5kg袋	5.8 ̶ (比重1.5)
	特殊混和液 リフレフィルボンドE 3.7kg袋	

### リフレフィルボンドの物性の一例

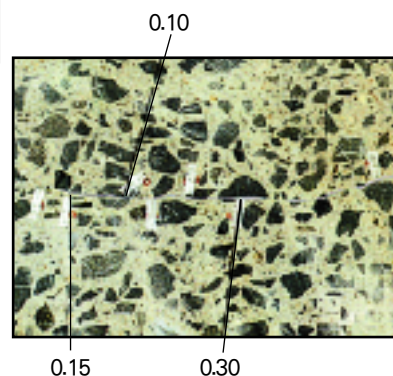
項目	試験値	試験方法
接着強さ	5.1 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 6024
曲げ強さ	5.3 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1171
圧縮強さ	37.9 N/mm <sup>2</sup>	JIS A 1171

### 温度と硬化時間の関係



注入プレートの取り外しは、  
・夏場で1日  
・冬場で2日  
を目安としてください。

リフレフィルボンドの  
ひび割れへの注入状況



# ひび割れ注入施工要領

## 1. 清掃

ひび割れ周辺の汚れをワイヤーブラシ等で除去します。



## 2. 注入プレートの貼付け

エポキシ樹脂等で注入プレートをひび割れ上に貼付けます。



## 3. ひび割れのシール

ひび割れ表面をシール材でシールし、硬化するまで養生します。



## 4. 混練

容器内のリフレフィルボンド「P」と「E」を取り出し、空いた容器に「E」を入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら徐々に「P」を投入し十分に混練してください。  
※練り玉が出来た場合は目開き 1mm程度のネットを通す等の処置をしてください。



## 5. 注入

リフレフィルボンドを注入ポンプで注入プレートに注入します。  
※コンクリート内部が乾燥している場合には、水通しを行った後30分位放置してください。



## 6. 養生

注入後は、自然養生を行います。

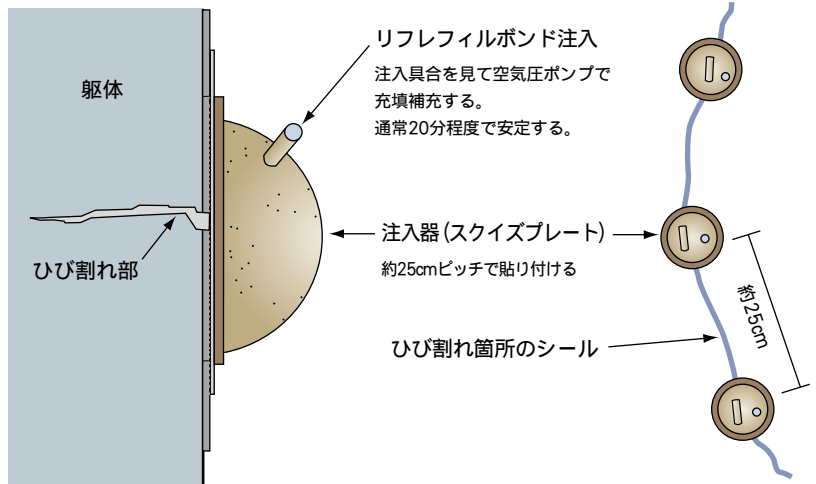


## 7. 仕上げ

注入材の硬化後、注入プレート・シールを除去し、表面を平滑に仕上げます。

## 注意事項

- ・練り上がったリフレフィルボンドは 1 時間以内に使い切るようにしてください。
- ・採暖が不可能な 5℃ 以下の施工は避けてください。



標準施工図



シール及び注入器具取付状況



リフレフィルボンド混練状況



リフレフィルボンド注入状況



注入器具及びシール材撤去状況

### ⚠ 注意

注入材が飛び出すことがあるため、必ず保護具を使用してください。また、注入器具の真正面に立たないでください。

### 取り扱い上の注意 ⚠

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用して下さい。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流して下さい。

使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート (SDS) をお読みください。  
本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

## 住友大阪セメント株式会社 建材事業部

- |       |           |                                   |                 |                  |
|-------|-----------|-----------------------------------|-----------------|------------------|
| 東京    | 〒102-8465 | 東京都千代田区六番町6番地28                   | 電話 03(5211)4752 | Fax 03(3221)5624 |
| 大阪    | 〒530-0004 | 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)         | 電話 06(6342)7704 | Fax 06(6342)7708 |
| 札幌支店  | 〒060-0003 | 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)          | 電話 011(241)3901 | Fax 011(221)1017 |
| 東北支店  | 〒980-6003 | 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F) | 電話 022(225)5251 | Fax 022(266)2516 |
| 北陸支店  | 〒920-0849 | 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)              | 電話 076(223)1505 | Fax 076(223)0193 |
| 名古屋支店 | 〒450-0003 | 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)    | 電話 052(566)3202 | Fax 052(566)3273 |
| 四国支店  | 〒760-0033 | 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)               | 電話 087(851)6330 | Fax 087(822)6870 |
| 広島支店  | 〒732-0827 | 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)          | 電話 082(577)7645 | Fax 082(577)7646 |
| 福岡支店  | 〒812-0011 | 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)         | 電話 092(481)0186 | Fax 092(471)0530 |

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は